

東芝メモリ株式会社 2017年度安全健康基本方針

当社は、「人を大切にします」「豊かな価値を創造します」「社会に貢献します」という東芝グループ経営理念に基づき「地球内企業」として世界各国の文化や慣習を尊重しながら、NANDフラッシュを中核としたメモリ半導体製品の開発・試作・製造等の分野を中心に事業活動を展開していきます。また、当社における、全ての事業活動において生命・安全・法令遵守を最優先し、「安全で快適な職場環境づくりと心身の健康保持増進」を行い組織と人の活力活性化を推進します。

1. 安全健康を経営の最重要課題の一つに位置づけ「安全健康管理活動の継続的な改善」「業務に起因する負傷および疾病の予防」に努めます。
2. 労働安全衛生法等、その他当社が履行することを決めた指針及び自主基準等を遵守します。
3. 次の事項について推進目標・推進計画を定め実行します。
 - 1) 労働災害や職業性疾病の撲滅、これらを誘発するリスク（人的要素、人間特性、物理的要因、化学的要因等）の抽出と低減措置
 - ① 業務プロセス全般に係わる定常・非定常におけるリスク
 - ② 設備の新規導入・改造・メンテナンス等におけるリスク
 - ③ 化学物質等の危険・有害性におけるリスク
 - ④ 残存リスク（特に管理リスク）に対する継続的評価による有効性の確認及び監視測定、力量確保の徹底
 - ⑤ クリーンルーム拡大に伴う建設工事・立上作業等に起因するリスク
 - ⑥ 外出・出張時を含めた危険箇所ならびに安全行動・安全動作に対する感度を向上させ、お互いに注意しあえる安全風土構築に向けた安全意識の高揚
 - 2) 交通加害事故、二輪車交通事故等の重大な要因に起因する事故の低減措置
 - 3) 全従業員が個々の能力を十分発揮するための心身の健康保持増進、ストレスチェック制度を活用したメンタルヘルス一次予防活動の推進
4. 当社の事業にかかわるすべての人の安全と健康を確保するため、取引先に対して安全健康への取り組みを求め支援します。
5. 私たちの安全健康に関する取り組みや成果を積極的に公表し、社会の安全健康管理水準の向上に貢献します。

2017年4月1日

東芝メモリ株式会社 社長

成毛 康雄